

わが家の防災メモ

わが家の避難所

わが家の避難所			

緊急連絡先

名称	電話番号	名称	電話番号
江南市消防署	55-2258		
江南市役所	54-1111		
江南警察署	56-0110		
電気会社			
ガス会社			
病院			

● 家族メモ

家族名	生年月日	血液型	緊急時連絡先



江南市

わが家から火事は

出さない！

地震でいちばん恐ろしいのは火事

の発生です！

大地震は突然襲って来ます。そして、たとえばこんなことになると…



「グラッときたら火の始末」

身の安全を守りながら、火の始末を考える。

子どもたちはじめ家族全員に「火を消せっ」と言わせるくせをつけておく。

慌てて外に逃げ出さない

(倒壊の恐れがある家は素早く外に退避する)

大揺れがおさまりはじめたらただちに火の始末！

初期消火の段階

いつまでも時間をムダに浪費しない！互いに火災を防ぐ意識を喚起する。

火のまわりは早い

数分で天井に燃え移る。

近所が協力して消火にあたる。



大地震の際、どんなところが火事の元になるかわかりません。コンロの火、風呂の火、ストーブの火など火の始末に心掛けましょう。

●わが家から火事は出さない！

万一火事になったら

消火の備えと心得

“初期消火”

火事は数分間で燃え広がるので、はじめの2~3分が勝負です。煙の中の有毒ガスを吸うと危険なので、煙に巻かれないように十分用心して消火に努め、煙が増えてきたらすぐに避難すること。



消火器やバケツの水などにとらわれなくて、手近にある液体——鍋の汁、やかんの水、ポットの湯、牛乳などをかける。

近隣の協力が大切

大地震の際は、同時に火災が発生することが予想されます。そうすると限りある消防力ではカバーできなくなります。そんなとき、隣近所の協力による消火活動が非常に重要なこととなります。

「火事だ〜」と
大声で近所に知らせ、応援を求める。



いつも備えておこう消火用具

もしもこうなったら……



だから、家具の転倒防止などの日頃からの備えが大切。

けがをしないために

大けがをすると、それ自体大変です。そしてさらに、消火活動や緊急避難などの必要な行動がとれなくなるともっと大変です。家の内外で気をつけることは……

家具や冷蔵庫、ピアノなどからすばやく離れ、安全な場所に移る。



大揺れが来たら、すぐにテーブルなどの下に入ってまず身を守る。



ガラスの破片の中でも行動できるようにスリッパの用意しておく。



とっさにふとんをかぶったり、座ふとんなどで頭を保護する。



夜間の停電時でも行動できるように懐中電灯を用意しておく。



揺れを感じたらブロック塀などからすばやく離れる。



瓦や看板、ガラスなどの落下物から身を守るために安全な場所に移動するか、持ち物で頭を守る。



自動販売機から離れる。



ショーウィンドーやショーケースなどから離れ、持ち物で落下物から頭を守る。



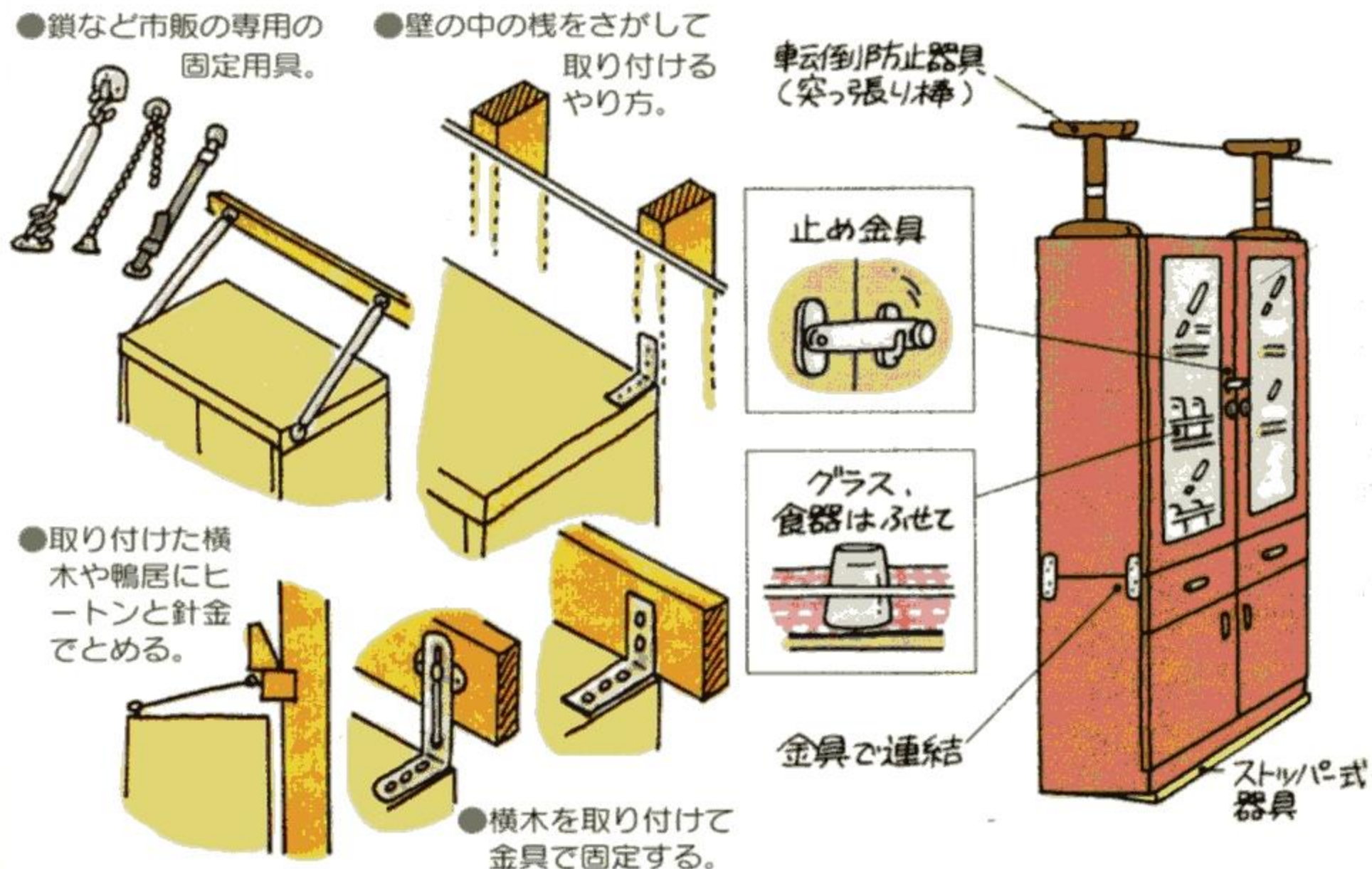
駅やホールなど大勢の人の中では、階段や出入り口に殺到しない。



室内の安全ここがポイント

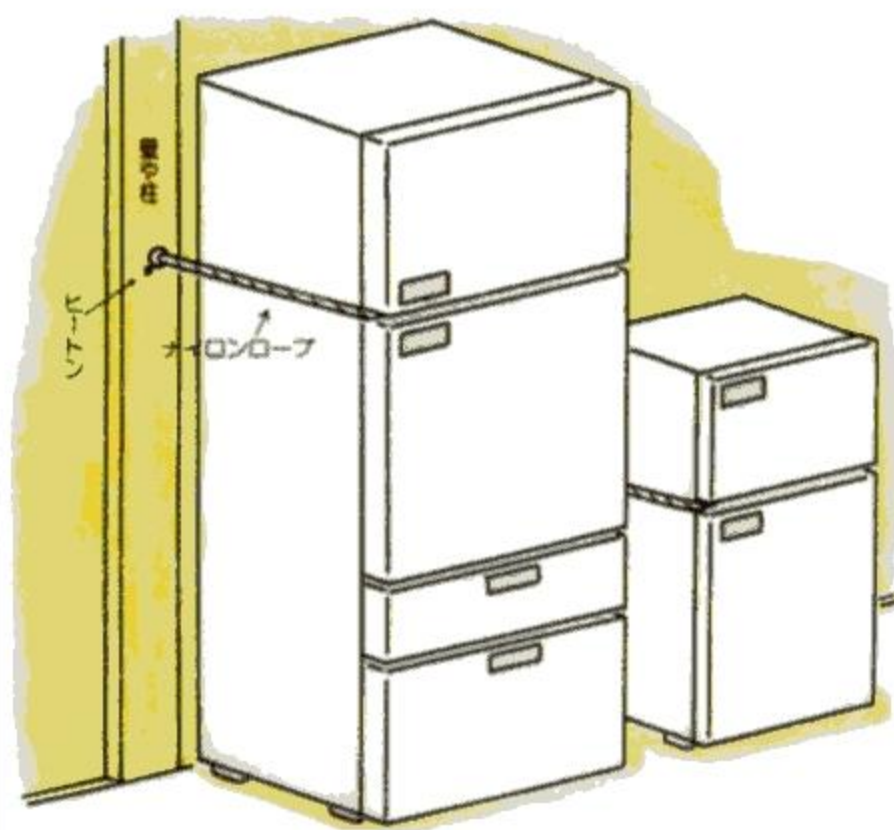
大げがをしないために！
火の始末や必要な行動が妨げられないように！

たんすや食器棚、本棚の転倒防止

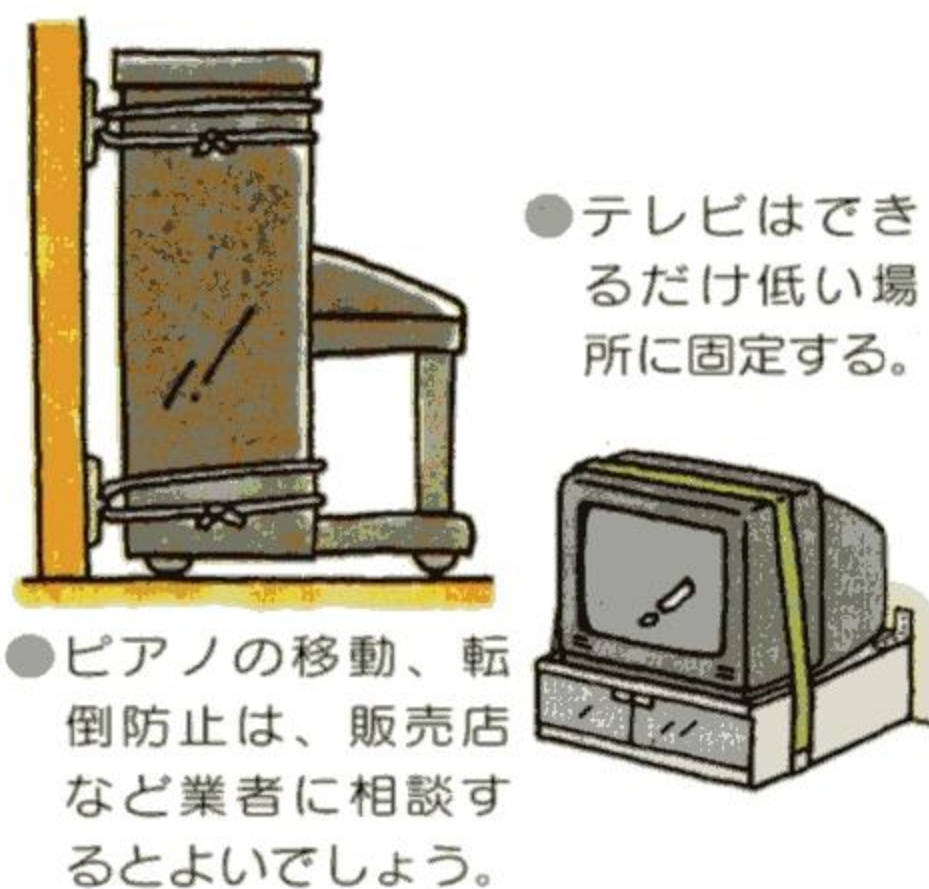


冷蔵庫の転倒防止

- 冷蔵庫は、たんすなどと同様にしっかりした棧に固定する。



テレビ・ピアノの移動、転倒防止

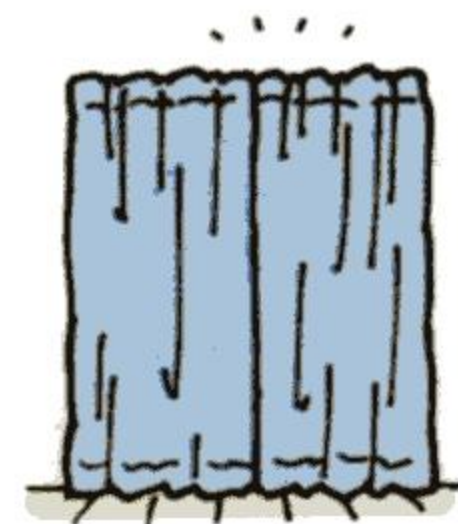


ガラスの破壊、飛散防止

■透明フィルムを貼る



- 市販されている「透明フィルム」を貼る（窓のガラス・食器戸棚・サイドボード・本棚など）。割れても破片になって飛び散ることは防げる。

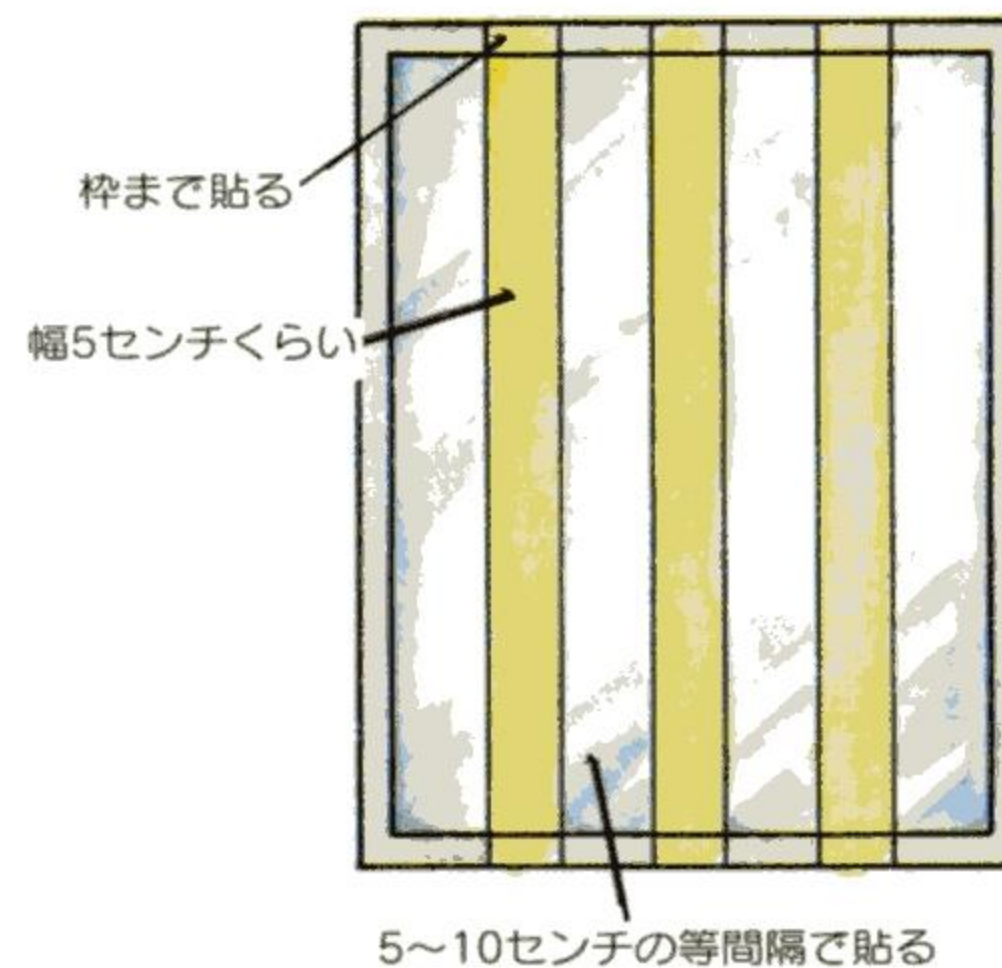


- 窓ガラスにはいつもカーテンを閉めておくと広く飛び散ることを防げる。

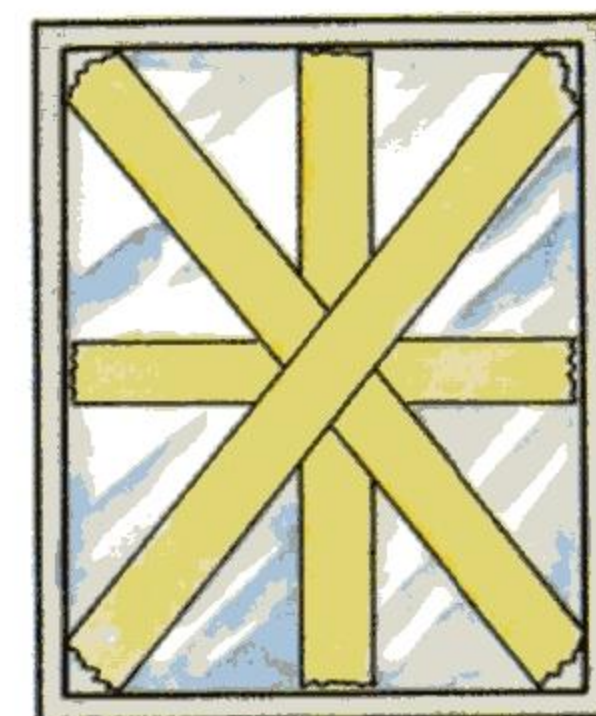
■粘着テープを貼る



▼効果的な貼り方



▼効果のない貼り方



- 枠まで貼らなければ、どんなに縦横に貼っても大きな固まりで割れ、飛び散る。

暮らしを守る備え

大地震のあと、暮らしはどんなことになるだろうか？

- 都市ガスがストップする。
 - 水道がストップするかも知れない。
 - 停電もあるかも知れない。
 - 商店やスーパーの食品も売り切れになるかもしれない。
- 暮らしのおおもとが狂ってしまうことになります。だから、暮らしを守る備えも大切に！

水の用意

- 1人1日3リットルが必要とされています。これは生命を維持するための量で、子どもや病人のいる場合や洗面や洗い物のためにはもっと必要です。



こまめに取り替えましょう



18Lのポータブルが便利です!!

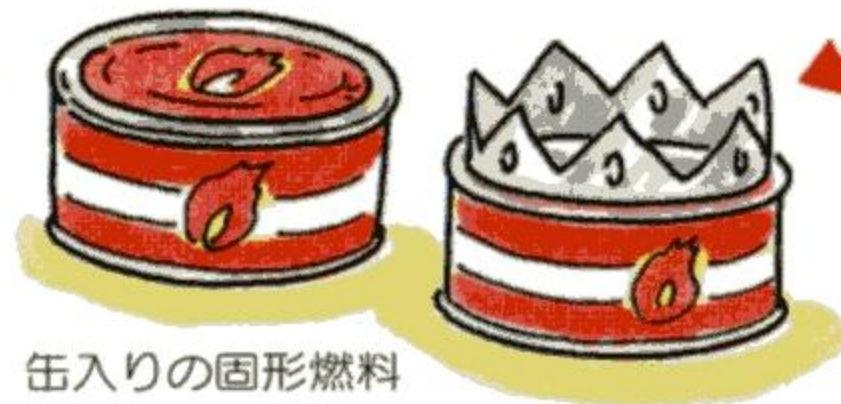
ため水は煮沸してから使用の方が安全!

燃料の用意

都市ガスは、一軒一軒の安全確認をしてからしか再供給されないため、復旧までにはかなりの日時を要します。



卓上コンロ



缶入りの固形燃料

アウトドア用コンロ



ボンベが必要! たくさん用意しておきましょう!!



照明の用意

ろうそくより懐中電灯や大型のライトがよい。



予備の電池はたくさんストックしておく!

子供部屋には絶対に使わせない

こうなるとあんなに

食べ物の用意

主食の米の用意。乳幼児の粉ミルクや離乳食。さらに病人の治療食など家族の状態に合わせて用意する。



米は一定期間に消費する量の2倍を用意する。その一定期間がきたときに通常量をたして、常に新鮮なものが一定量残っていくという仕組み。これを「ローリングストック」方式と言っています。

燃料が必要!

缶詰
肉や魚のいろいろの缶詰めは、おかずとして保存がききます。

缶詰以外の保存がきくいろいろのおかず



レトルト・フリーズドライなど長期に保存がきく食品が多数あります。



おやつ



粉ミルク



東海地震警戒宣言の発令ま

での流れ

東海地震に関する情報発表と防災対策

気象庁による24時間観測体制のもとで異常が発見されると、次のように情報が提供されます。

東海地震観測情報

【発表基準】

東海地震発生との関係についてしばらく様子を見ないと評価できない場合（東海地域に設置された歪計1か所で有意な変化が認められた場合。または想定震源域内などで地震が発生し、東海地震との関連性についてただちに評価できない場合）。

- 平常時と同様に過ごしてください。
- テレビ・ラジオなどからの情報収集に努める。

【安心情報のお知らせ】

東海地震の恐れがなくなったと認められる場合や、ただちに東海地震に関連がないと判断できる場合は、安心情報を併せて発表します。

【発表基準】

東海地震の前兆現象の可能性が高まったと認められた場合（東海地域に設置された歪計2か所で有意な変化が認められた場合）。



外出している場合

- できるだけ速やかに帰宅する。（この段階では公共交通機関は動いているため帰宅できます。）落ち着いて行動してください。
- 学校・保育園は授業中止、児童・生徒は下校する（保護者引渡し）。



自宅にいる場合

- テレビ・ラジオでさらに正確な情報の把握に努める。
- 不用意に出歩かない。この時点では避難所は開設されていません。
- 家の中の整理、火の始末、動きやすい服に着替える。非常持ち出し品の確認、準備などをする。

【解除基準】

東海地震発生の恐れがなくなったと認められた場合。

危険度

東海地震予知情報

【発表基準】

東海地震の発生の恐れがあると判断された場合に発表されます。ほぼ同時に「警戒宣言」が発令され、本格的な防災体制が敷かれます。（東海地域に設置された歪計3か所で有意な変化が認められた場合。）

【解除基準】

東海地震発生の恐れがなくなったと認められた場合。

外出している場合

- 地下鉄・市バスは最寄りの駅などで停車します。
- 帰宅などのため移動する場合は徒歩となりますが、市の施設や学校などで水道水の提供、トイレの提供、休息場所の提供、帰宅経路の案内が受けられます。
- 東海道新幹線は、「名古屋=新大阪」間で運行を継続します。

自宅にいる場合

- 身を守るため、安全な場所を確保してください。
- 正確な情報をテレビ・ラジオなどから得る。
- 不必要な火を使わない。
- 避難する場合は、電気ブレーカーを切り、ガスの元栓を閉める。

注意！

予知ができない場合も
前兆現象が小さくて観測できない場合や前兆現象から地震発生までが急激に進行し、時間的に余裕がない場合なども想定されます。これらの場合、注意情報や予知情報が発表されないまま地震が発生することもあるので、日頃からの防災対策が重要です。

危険度

東海地震注意情報

警戒宣言時の対応（愛知県地域防災計画による強化地域内の対応）

※江南市は強化地域外です。

■ライフライン

- 水道・電気・ガスは供給継続。

■電話

- 一般通話利用制限あり（警戒宣言前の段階から「災害伝言ダイヤル171」を提供）。

■鉄道・地下鉄

- 強化地域内への進入を禁止、最寄りの安全な駅に停車。
- 震度6弱未満、津波なしの地域では、安全運行可能と判断した場合は、運行継続可。
※JR東海の新幹線：名古屋—新大阪間の運行継続。

■バス・タクシー

- 運行中止（安全な場所に停止し、旅客に避難地を教示）。

■一般道路・高速道路

- 走行は極力抑制・流入を極力制限（流出は制限無し）。
- インターチェンジからの流入制限。強化地域内への流入制限（流出は制限無し）。

■金融機関

- 一部のオンラインの稼働を除き営業中止。
- 普通郵便局、集配特定郵便局は郵便貯金の払戻しの窓口取扱い（通常の営業時間内）を行う。



■百貨店・コンビニ等

- 原則営業中止。耐震性を有するなど安全性が確保される場合は、営業は継続できる。

■病院

- 原則外来診療中止。耐震性を有する病院は診療を継続できる。

■学校

- 東海地震注意情報が発表された場合、授業中止、児童・生徒等は下校（保護者引渡し）。

■県の施設

- 県民が利用する施設は、東海地震注意情報が発表された場合、原則として閉館する。

非常用品のチェックリスト

このチェックリストを参考に家族構成に合わせて準備しましょう

貴重品

- 現金 (小銭も)
- 預金通帳
- 印鑑
- 免許証など身分証明書
- 権利証書 健康保険証



衣類など

- 下着・上着・靴下
- セーターや防寒具
- 軍手 タオル
- 毛布 雨具
- 三角巾 風呂敷



食料品

- 水 (1人1日3リットル) が目安
- 乾パン
- 缶詰やレトルト食品
- 栄養補助食品
- アルファ米
- ドライフーズ
- インスタント食品
- 梅干し
- チョコレート
- お菓子類 (子どものおやつ)
- 調味料



日用品

- 洗面用具 ポリ袋 ロープ
- ビニール袋 生理用品
- 携帯ラジオ 懐中電灯
- 予備の電池 ライター・マッチ
- ドライシャンプー 粘着テープ
- ビニールシート
- ティッシュペーパー
- ウェットティッシュ
- 新聞紙 ポリタンク スコップ
- 使い捨てカイロ 携帯用傘

応急医薬品

- 治療常用薬
- 鎮痛剤 整腸剤
- 風邪薬 消毒薬
- 傷薬 軟膏
- ガーゼ・包帯



赤ちゃん用品

- 肌着などの衣類
- おむつ 粉ミルク
- ほ乳びん おんぶ帯
- パウダー オイル



■ちょっとした工夫がいざという時に役立つ■

◎家族のためには

※予備のメガネ、補聴器、持病の薬など、家族に応じた非常持ち出し品を考える。

◎枕元には

※夜、地震が起きた場合に備えて、懐中電灯・スリッパ・携帯ラジオ・笛などを袋に入れて用意しておく。

◎車の中には

※ジャッキ・テント・毛布・寝袋・ビニールシートなども車のトランクなどに入れておく。

家族・親戚等の安否確認

大地震が発生して、家族や親戚・友人などに通常の連絡方法が取れない場合は、NTTの「災害用伝言ダイヤル」または第三者を経由して安否を確認する方法があります。

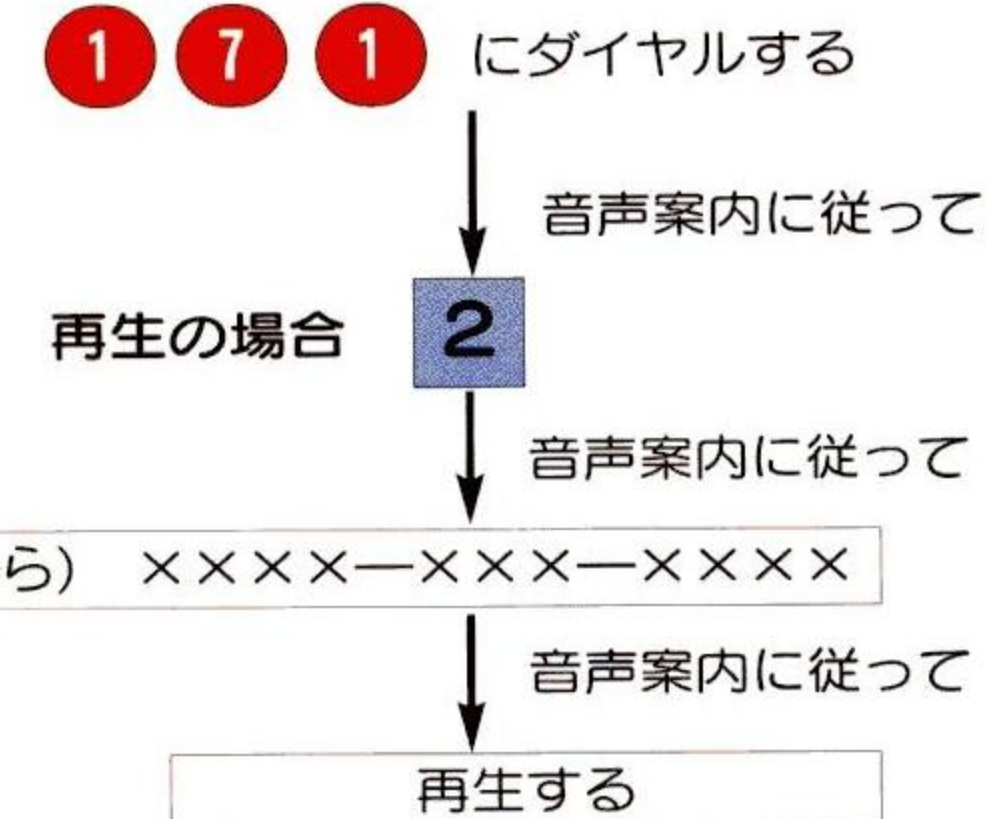
災害用伝言ダイヤル「171」の利用法

※毎月1日(1月1日を除く)24時間体験利用ができます。

伝言を録音する場合



伝言を再生する場合



- ※一般加入電話(ダイヤル式、プッシュ式)、公衆電話、携帯電話、PHSなどの電話でもかけられます。
- ※録音された伝言は48時間(2日間)経過すると消去されます。
- ※料金はかけた人が負担します(災害救助法が適用された時点で、その地域の利用者は無料になります)。

第三者経由での連絡

- 大災害時には電話の殺到でつながりにくい状態になったり、重要通信(緊急通報)の優先的接続確保のため一般加入電話は規制されて通じなくなる場合があります。
- 電話・携帯電話の通話不可能の事態を想定して他の地域の何か所かにそれぞれの連絡先をきめておき(相互了解)、そこに双方が無事や被害の状況などをメッセージし、それを取り次いでもらうという方法が考えられます。



知っておこう応急手当

安全な避難のために

倒れたとき（意識障害）

- 絶対安静にする。つまり動かさない。しかし、危険な場所、きゅうくつな所、寒冷な戸外などで倒れたり、止血などの処置に不便なときは最小限の範囲で首や頭が急激に動かないように慎重に移動させる。
- 気道を確保し、衣服をゆるめてらくにする。
- 吐くときは顔だけでなく身体全体を横向きにさせ、首を水平に保つために頬の下にあて物をあてがう。
- 意識が回復しても安静にさせ、立たせたり歩かせたりしない。



※意識を失っている患者の身体をむやみに動かしてはいけない。
 ※正気に戻ってもゆすったり、抱き起こしたり、水を飲ませたりしてはいけない。

止血の方法

- 傷口を押さえて「圧迫止血」をする。
- 圧迫止血で止まらないときは、止血点を押さえる（傷口より心臓側の血管を骨に向かって押しつける）。

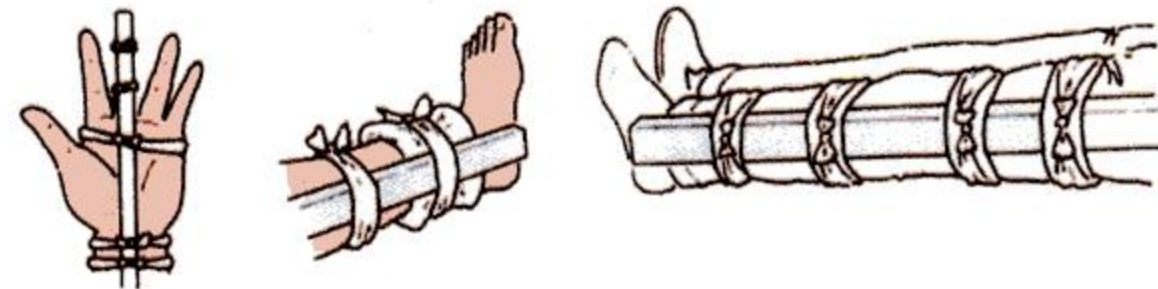


大出血の場合、棒で止血帯をねじって締めつける。30分おきくらいでゆるめる。

※汚れたままで傷口を押さえないこと。
 ※傷口の圧迫に、脱脂綿やちり紙を直接当てない。
 ※薬を勝手にぬらないこと（医師の治療の妨げになる）。

骨折の手当

- 必ずむくみがくるので、局所の圧迫物を早く取り除く（脱がせにくい靴や衣服を切り開く）。
- そのうえで、局所の安定を保つために副木を当てる。
- 複雑骨折（骨が露出している骨折）の場合は、傷の周りを消毒し、清潔なガーゼを当ててから副木を固定する。
- 副木で固定したら、骨折部を低くしないようにして病院に運ぶ。



※露出した骨には手に触れない。傷の消毒などもしない。
 ※捻挫、脱臼などと勝手に判断しない、また無理に動かさない。
 ※副木は靴べら、板、杖、傘などありあわせの物を利用する。

やけどの手当

- やけどの部分早く、十分に冷やす。
- 衣服や靴下などを無理に脱がさず、その上から水を静かに流して冷やす。
- 手足は水につける。
- 水ぶくれは破らないように注意する。
- 薬などは何も塗らないこと（医師の治療の妨げ、また、細菌感染を起こす）。



※やけどの皮膚はすぐに破れて細菌の感染を起こすので、患部に触れない。
 ※冷やすとき、水道の蛇口の水を直接患部に当てない。

いつ避難するか

避難勧告がでたとき

- 防災関係機関（市役所・消防署・警察署など）から避難勧告がでたときは、隣近所などと協力して素早く避難する。



自分で判断して

- 海のそばで、強い地震を感じたときは津波を警戒して高所（高台）へ急いで避難する。

避難はどこへ？ どのように？

市で指定した場所

- 市では、地震・風水害（台風・大雨）などの災害時において、市民のみなさんが避難される場合の避難所を指定しています。
 ※詳しくは「江南市の避難所等」（17頁～18頁）を参照してください。

避難にさきだって

- 電気のブレーカーを切る（漏電による火災を防ぐため）。
 ※阪神大震災では、漏電による火災があった。
- ガスの元栓を閉める。
- 戻ってくる家族や駆け付けた知人のための連絡メモを、目のつく場所に残しておく。



- 古い建物では、強い地震を感じたら、落下物に注意していったん外に避難する。
- 傾斜地の崩壊・崩落の危険のある場所では、安全な場所に避難する。

火災が拡大したとき

- 火災が拡大して、延焼火災が接近した場合は、その地域の人や避難を急がなければなりません。



避難のルールと服装

- 家族や近隣の人と声を掛け合って、集団で避難する。
- 高齢者・障害者・病弱者などの避難を優先する。
- 警察官や自主防災組織のリーダー等の指示に従って秩序よく避難する。
- 徒歩で避難する（自動車やオートバイ等で避難しない）。
- 避難する時は、ヘルメットや防災頭巾で頭を保護する。
- 長そで、長ズボンで、靴は履き慣れたスニーカー等を履く。

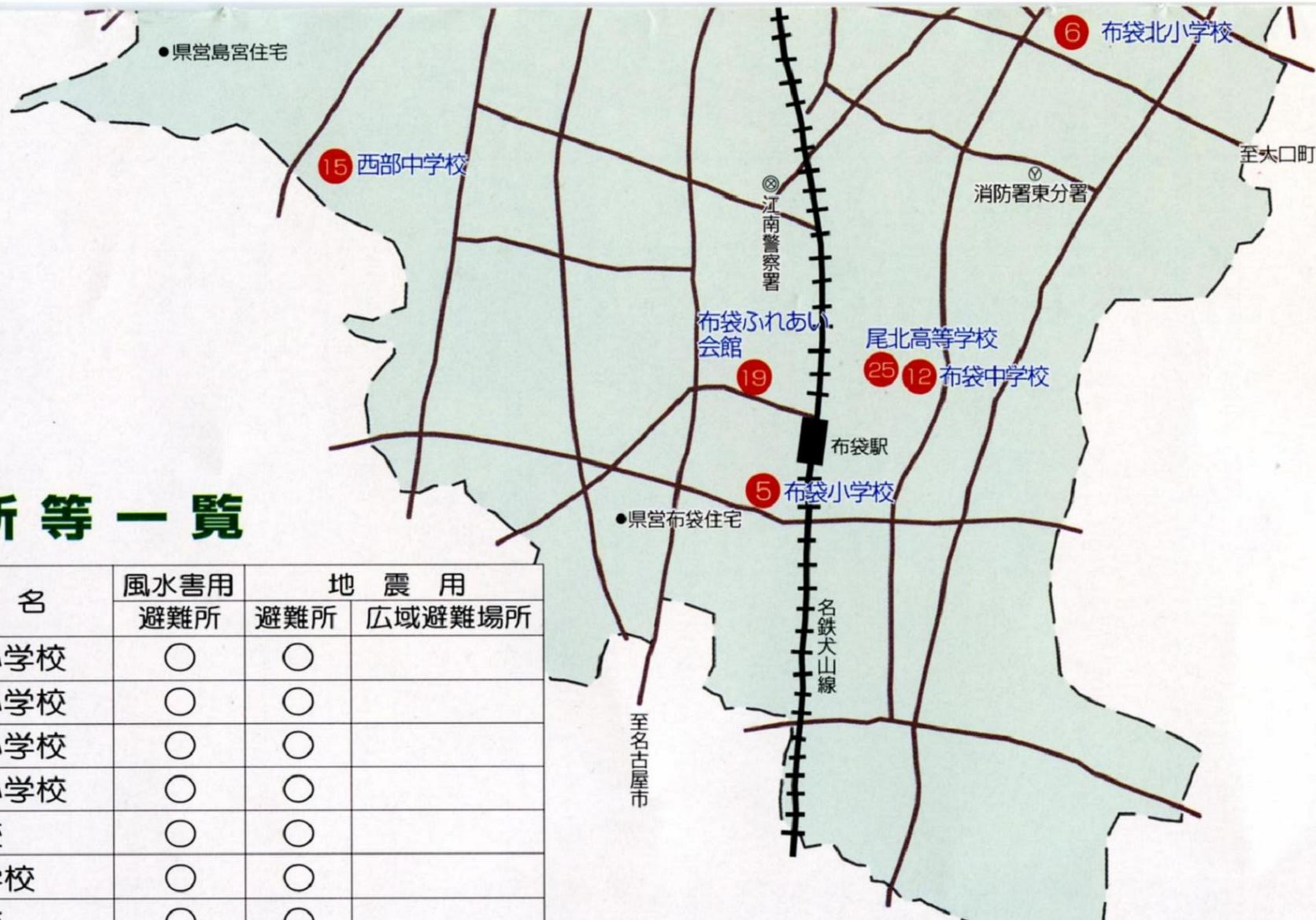


江南市の避難所等

※平成18年1月に改正しました。



市では、地震、風水害（台風・大雨）などの災害時において、市民の皆さんが避難される場合の避難所等を左図のとおり指定しています。
 いざというときのために、日ごろから、避難所の位置や避難経路を家族全員で話し合い、確認し合ってください。



避難所等一覧

番号	施設名	地震用		
		風水害用 避難所	避難所	広域避難場所
1	古知野東小学校	○	○	
2	古知野西小学校	○	○	
3	古知野南小学校	○	○	
4	古知野北小学校	○	○	
5	布袋小学校	○	○	
6	布袋北小学校	○	○	
7	宮田小学校	○	○	
8	草井小学校	○	○	
9	藤里小学校	○	○	
10	門弟山小学校	○	○	○
11	古知野中学校		○	○
12	布袋中学校		○	○
13	宮田中学校		○	○
14	北部中学校		○	○
15	西部中学校		○	○
16	武道館		○	
17	老人福祉センター	○	○	
18	(中央コミュニティセンター)		○	
19	布袋ふれあい会館		○	
20	すいとぴあ江南		○	

番号	施設名	地震用		
		風水害用 避難所	避難所	広域避難場所
21	宮田保育園	○		
22	古知野中保育園	○		
23	中央保育園	○		
24	市民体育会館	○		
25	尾北高等学校			○
26	江南高等学校			○
27	中央公園			○
28	蘇南公園			○
29	江南緑地公園 (中般若)			○
30	江南緑地公園 (草井)			○
合計		15	20	12